

## さよなら！僕たちの市立幼稚園

～富士幼稚園と登別温泉幼稚園が閉園～

富士幼稚園と登別温泉幼稚園が3月31日(木)をもって、閉園となり、若草幼稚園（平成13年3月末に閉園）と合わせ、3つの市立幼稚園すべてが姿を消しました。

市立幼稚園は、第2次ベビーブームによる幼児の増加を背景に昭和51年から相次いで開園しましたが、昭和53年に1,864人を数えた市内の4・5歳児も、平成16年には861人になるなど、少子化により幼児の減少が続いていました。市は、今後、幼稚園教育の安定・充実を図るため、これを私立幼稚園に委ね、幼稚園教育振興のための総合的な施策の推進にあたります。

3月12日(土)に富士幼稚園の閉園式が第29回卒園式と兼ねて、13日(日)に登別温泉幼稚園の閉園式が登別温泉保育所の退所、閉所式（4月から登別保育所に統合）と兼ねて行われ、歴代園長やPTA役員など来賓が見守る中、子どもたちがお別れの歌を元気いっぱいに歌って、市立幼稚園の歴史に幕が下ろされました。



◀富士幼稚園  
閉園式・第  
29回卒園式

登別温泉幼稚園▶  
閉園式



## 高齢者にやさしいまちになれ ～高齢者世帯などの除雪ボランティア活動～



2月26日(土)、鷺別地区の民生委員・児童委員と鷺別中学校の生徒（生徒会、野球部）・教職員が地域の高齢者世帯などの除雪ボランティア活動を行いました。

例年がない大雪で、街中のあちこちに雪の山ができたこの冬。除雪や外出などに困る高齢者の手助けになればと、鷺別地区の民生委員児童委員でつくる鷺別地区民生委員児童委員協議会が鷺別中学校にも協力を求め、初めて除雪ボランティア活動を行いました。

ボランティア参加者約50人が鷺別町と栄町の住宅街に分かれ、スコップを手に除雪作業を開始。時折汗をぬぐいながら固まった雪を取り除き、歩行通路などを確保しました。その様子を見ていた近隣の高齢者から参加者に、感謝の声が寄せられていました。

## 僕も、今日からさかな博士！

～公民館講座『さかな博士教室』～

3月5日(土)、登別マリンパークニクスで『さかな博士教室』が開かれ、11人の子どもたちが参加しました。

同教室は、市内の小学3・4年生を対象に、いろいろな海の生き物に触れながら生態を学び、生命や自然環境に対しての理解を深めてもらおうと開かれているもので、『イルカ博士教室』『アシカ博士教室』に続く『さかな博士教室』は今年で3回目。

最初に、登別マリンパークニクスの学芸員吉中敦史よしなか あつしさんから、魚の生態についての説明を受けた子どもたちは、タッチプールへ移動。ヒトデや、エイに触って「ぬるぬるしてる」などの声を上げていました。子どもたちがもっとも喜んだのは、大水槽での給餌。餌のオキアミを水槽に入れると、アジやイサキなどがたくさん寄って来ます。子どもたちは、その様子を目を輝かせ、しっかりと観察していました。

